

# 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果

京都市立近衛中学校

4月19日(火)に、本校3年生110名を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、本校の状況がまとめました。本調査は、国語・数学・理科の3教科のテストと同時に、本校での学習状況、家庭での生活・学習環境を問う調査も実施されています。生活習慣と学力の関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

## 総合結果(国語・数学・理科)

国語、数学、理科すべての領域において全国平均、京都府平均を上回っています。しかし、領域別、問題別では課題分析が必要です。

## 国語科より

全体的によくできています。特に思考力・判断力・表現力の「読むこと」の領域では、全国平均を約8ポイント上回っています。

しかし、資料の一部を引用して自分の考えを記述する問題においては全国平均をわずかながらに下回りました。自分の考えがしっかり伝わるように記述する工夫が必要です。

## 数学科より

全領域全国平均を10ポイント以上上回っており、全体的によくできています。特に「関数」は20ポイント以上上回っていました。

一方で「データの活用」については10ポイントにとどまっていますので、さらなる向上が望まれます。

その他にも観点や問題形式についても平均と比較すると高い数値ではありますが、記述式は50ポイントなので、さらに論理的に思考し、表現していくことが必要です。

## 理科より

領域、観点、問題形式に関わらず全体的によく出来ています。特に記述式の問題については、全国平均よりも正答率が17.8%上回りました。全国の傾向と同じく本校でも正答率が低かった問題では、観測データからの他者の考察を改善することが求められました。実験結果を多面的、総合的に検討していくことが必要です。

\*上記の結果は、近衛中学校の平均です。返却された個々のデータを見ると、それぞれの課題が見えてくると思います。返却されたデータと問題を見比べ、どこに自分の課題があるのか、個人でも分析してみましょう。また、正答でなかった問題に関しては、再度、チャレンジするなどしてみましょう。

### 生徒質問紙から

生徒質問紙は「学習に対する興味・関心等」「規範意識・自己有用感」「生活習慣・学習習慣」の3つの領域で構成されています。

#### ① 学習に対する興味・関心

国語・数学・理科に対する興味・関心はいずれの教科も全国平均・京都府平均のどちらも上回る結果でした。特に数学は、全国平均・京都府平均のどちらも大きく上回る結果でした。興味・関心をもつことが、学力面においても平均を上回る結果と関連があることがわかります。また、学力面の結果だけでなく「(その教科の)勉強が好きか」や「(その教科の学習は)将来、社会に出たときに役に立つか」という質問に対しても肯定的に答えた生徒が平均を上回り、将来も必要な学力として、学校での学びをとらえていることがわかります。

#### ② 規範意識・自己有用感

規範意識は、人の役に立つ人間になりたいと思いますか、などの質問で、どの質問も全国平均・京都府平均を上回っていました。特に自己有用感は規範意識よりも平均を大きく上回っていました。自分にはよいところがある、先生や周りの大人はそれを認めてくれている、と感じる生徒が多かったです。一方で、「自分にはよいところがある」には、否定的な回答をする生徒もいました。一人ひとりと丁寧に向き合った教育は今後も継続の必要があることがわかります。

#### ③ 生活習慣・学習習慣

生活習慣・学習習慣はきちんと確立されており、普段からのご家庭のご協力が窺えました。「家庭での蔵書数」、「読書時間」、「新聞に目を通す日数」、「自然の中で遊ぶことや自然観察すること」などが平均を大きく上回っていました。本、ニュース、自然体験など普段からの習慣は学力をも醸成すると示唆されます。

#### ④ その他

「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家人と約束したことを守っていますか」の質問に対し、昨年度は平均を大きく下回る結果となっていましたが、今年度は「きちんと守っている」と答えた生徒が平均を上回る結果となりました。一方で、「あまり守っていない」と答えた生徒も平均を上回り、二極化の現状が見られました。情報機器の学校、家庭での扱い方は今後も継続して話していく必要を感じます。

### 保護者の皆様へ

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決していくためのものです。結果が学力のすべてを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。学力は学校・家庭・地域での地道な積み重ねによって定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤になります。今後とも引き続き、「お子たちの健やかな育ち」と「学びの環境づくり」にご協力をお願いいたします。